

高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第27週（7月2日～7月8日）

★お知らせ

○夏型感染症（手足口病・咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

例年、6月頃から報告数が増えはじめ7月頃にピークを迎える夏型感染症の報告が、増加傾向になりましたので注意しましょう。

手足口病

定点医療機関当たりの報告数は、第26週の1.17から第27週には1.53と増加しています。県全域から報告があり、幡多で急減していますが、安芸、中央西で急増し、特に安芸では警報値を超えています。

病原体検出情報では臨床診断名「手足口病」として搬入された検体から **Rhinovirus** が2例検出されています。第26週に検出された手足口病・ヘルパンギーナの原因ウイルスである **Enterovirus 71** は中枢神経系の合併症の発生率が高いことが知られ、まれに急性髄膜炎や急性脳炎を生ずることがあります。高熱・嘔吐・頭痛が見られる場合は十分に注意してください。

咽頭結膜熱（プール熱）

定点医療機関当たりの報告数は、第26週の0.40から第27週は0.30と減少しています。中央西、幡多、高知市で減少していますが、須崎では急増し注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報ではアデノウイルスによる感染症6例の報告があります。

<予防方法> これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。また、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第26週の3.97から第27週には3.03と減少しています。県全域から報告があり、須崎で急減、安芸、中央東で減少していますが、幡多で増加しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス2例、ロタウイルス1例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎4例の報告があります。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも7例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが、1年を通して発生しています。通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることから注意が必要です。また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。

<予防方法> 手洗いが有効です。

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○百日咳に気を付けて！

第27週に百日咳の発生届けが、中央西福祉保健所から1例、須崎福祉保健所管内から2例報告されました。2018年にはいつが高知県内の百日咳の届出は合計118例となっています。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。そのため、比較的軽い症状の患者や感染しても症状が軽いため百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することも考えられることから注意してください。

<予防方法> 飛沫感染予防には、手洗い、咳エチケットです

・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。

- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさけ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●国立感染症研究所 百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン

https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis_guideline_180425.pdf

☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意



農作業や草刈りの時には、長袖・長ズボンで肌の露出を出来るだけ少なくしましょう。

第27週に安芸福祉保健所管内から1例日本紅斑熱の発生届けがありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間	使用禁止	
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

SFTSはマダニからの感染が一般的ですが、最近の研究で、SFTSウイルスに感染し、発症している野生動物やイヌ・ネコなどの動物の血液からSFTSウイルスが検出されています。このことは、SFTSウイルスに感染している動物の血液などの体液に直接接触した場合、SFTSウイルスに感染することも否定できませんので、動物に触った後は必ず手洗いをするなどの感染予防に努めましょう。また、体調不良の動物と接触した後、発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診してください。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

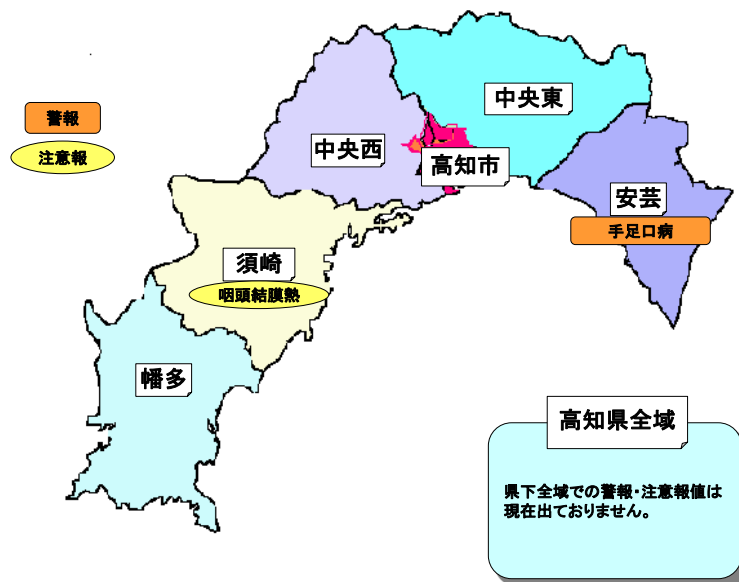
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増 ↗ : 増加 → : 横ばい ↓ : 減少 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↓	3.03	中央西で急減、県全域、安芸、中央東で減少していますが、幡多で増加しています。
手足口病	↗	1.53	幡多で急減していますが、安芸、中央西で急増、県全域で増加し、安芸では警報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	0.97	中央東、幡多で急減、県全域、高知市、須崎、中央西で減少しています。
突発性発疹	↓	0.37	中央東、中央西で急減、県全域、高知市で減少していますが、須崎で急増、安芸で増加しています。
咽頭結膜熱	↓	0.30	県全域、中央西、幡多、高知市で減少していますが、須崎で急増し、須崎では注意報値を超えています。

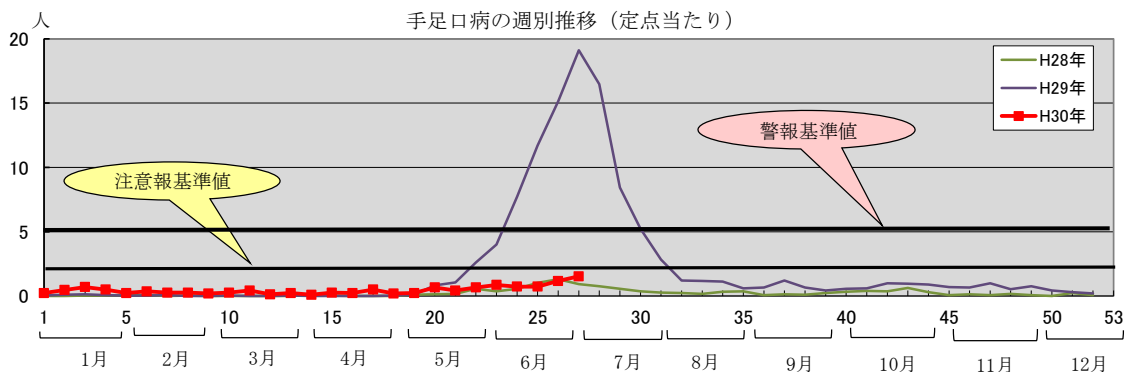
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

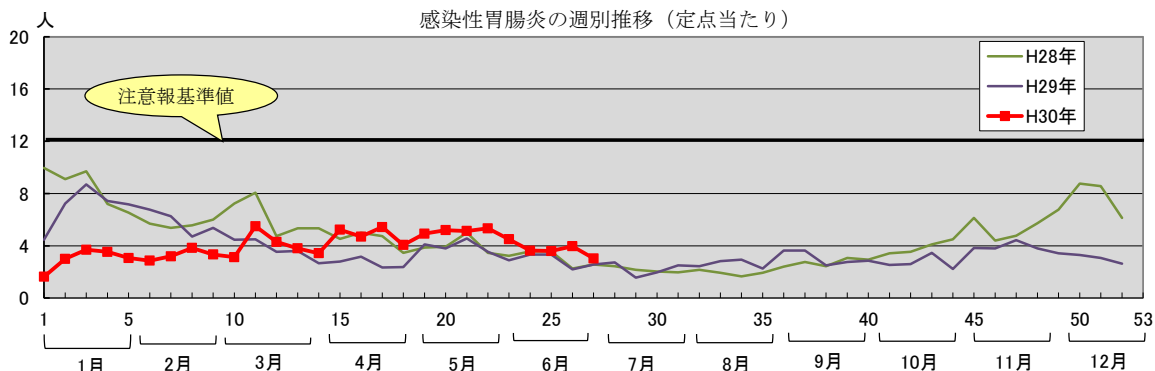
○手足口病 第27週：1.53（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.53（前週：1.17）と増加しています。幡多 0.60（前週：1.40）で急減していますが、安芸 8.00（前週：2.00）中央西 1.00（前週：0.00）で急増し、安芸では警報値を超えています。年齢別に見ると、全ての患者が5歳以下となっています。



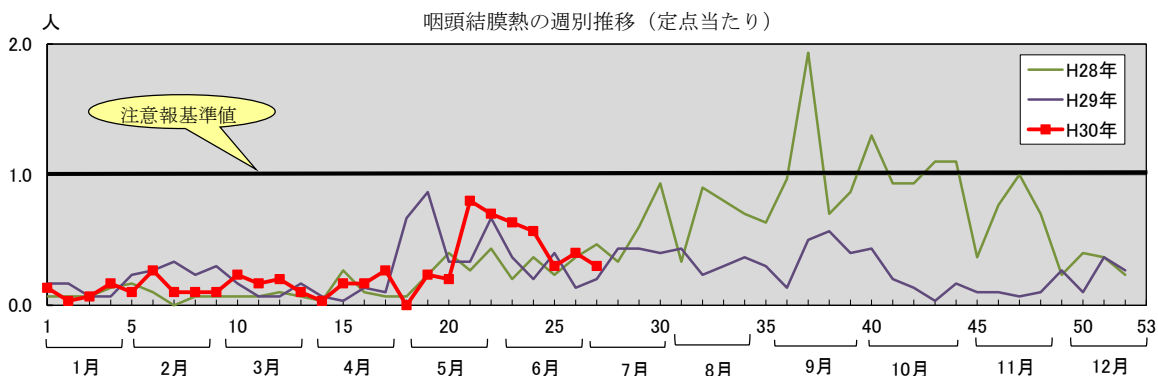
○**感染性胃腸炎 第27週：3.03** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.03 (前週：3.97) と減少しています。中央西 0.67 (前週：2.33) で急減、安芸 4.00 (前週：7.50) 中央東 2.29 (前週：4.29) で減少していますが、幡多 3.40 (前週：2.60) で増加しています。



○**咽頭結膜熱 第27週：0.30** (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.30 (前週：0.40) と減少しています。中央西 0.67 (前週：1.00) 幡多 0.40 (前週：0.60) 高知市 0.18 (前週：0.36) で減少していますが、須崎 1.00 (前週：0.50) で急増し、須崎では注意報値を超えています。



★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	不明発疹症	発疹,	6	男	須崎	human parvovirus B19
27	呼吸器感染症	39°C, 咳嗽, 気管支炎,	1	男	中央東	Parainfluenza virus 3
27	不明発疹症	発疹,	2	女	須崎	Rhinovirus
27	不明発疹症	37°C, 下痢, 発疹,	1	男	須崎	Rhinovirus
27	手足口病	発疹,	2	男	須崎	Rhinovirus
27	手足口病	37°C, 発疹,	3	男	須崎	Rhinovirus

★**全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	58	60歳代 男	中央東
		1		80歳代 女	
		1		80歳代 男	幡多
4類	日本紅斑熱	1	9	80歳代 女	安芸
5類	百日咳	1	118	20歳代 男	高知市
		1		5~9歳 男	中央西
		1		10~14歳 女	須崎
	15~19歳 男				

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎1例(1歳男)
中央東	おひさまこどもクリニック	26w カンピロバクター腸炎1例(1歳男)
	早明浦病院小児科	サイトメガロウイルス感染症(発熱、発疹)1例(2歳男) 腎盂腎炎1例(11歳女)
高知市	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例(10ヶ月男)
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌O-8腸炎1例(4歳)
	細木病院小児科	ノロ1例(1歳女) ロタ1例(2歳女) キャンピロ2例(4歳男、10歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑3例(5歳女、10歳男女) 溶連菌感染症3例 手足口病2例
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎3例(2歳女、4歳男、5歳女) ヒトメタニューモウイルス感染症1例(9ヶ月女) 百日咳1例(7歳男:LAMP法陽性)
須崎	もりはた小児科	百日咳2例(11歳、16歳:兄弟)
幡多	こいけクリニック	アデノウイルス陽性1例(11ヶ月女)
	さたけ小児科	帯状疱疹1例(7歳男) アデノ1例(2歳男)

★全国情報

第25号(6月18日~6月24日)

1類感染症:報告なし

2類感染症:結核356例

3類感染症:細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症105例

4類感染症:E型肝炎10例、A型肝炎30例、オウム病1例、つつが虫病2例、デング熱2例
日本紅斑熱6例、マラリア1例、レジオネラ症63例

5類感染症:アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症26例
急性脳炎8例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例
後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症3例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症28例、水痘(入院例に限る)8例
梅毒103例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、百日咳152例、風しん3例、
麻しん1例

削除予定:風しん1例

報告遅れ:E型肝炎3例、エキノコックス症1例、日本紅斑熱1例、ボツリヌス症1例、マラリア1例、
レジオネラ症12例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症10例、
急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、
水痘(入院例に限る)4例、梅毒80例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、百日咳76例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第27週 平成30年7月2日(月)～平成30年7月8日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第27週							計	前週	全国(26週)	高知県(27週末累計)		全国(26週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/8				H30/1/1～H30/7/1			
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	422 (0.09)	20,862 (434.63)	1,758,444 (355.60)			
小児科	咽頭結核熱		1	2	2	2	2	9 (0.30)	12 (0.40)	2,413 (0.76)	196 (6.53)	36,726 (11.63)				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	20	2	2	2	29 (0.97)	48 (1.60)	8,329 (2.64)	1,189 (39.63)	205,816 (65.19)				
	感染性胃腸炎	8	16	47	2	1	17	91 (3.03)	119 (3.97)	18,093 (5.73)	3,213 (107.10)	449,607 (142.42)				
	水痘			6	1	1		8 (0.27)	7 (0.23)	1,153 (0.36)	149 (4.97)	27,437 (8.69)				
	手足口病	16	8	13	3	3	3	46 (1.53)	35 (1.17)	5,053 (1.60)	379 (12.63)	36,032 (11.41)				
	伝染性紅斑		1	3				4 (0.13)	1 (0.03)	1,254 (0.40)	46 (1.53)	10,931 (3.46)				
	突発性発疹	3	1	6		1		11 (0.37)	19 (0.63)	1,783 (0.56)	285 (9.50)	35,813 (11.34)				
	ヘルパンギーナ			1	2			3 (0.10)	5 (0.17)	3,161 (1.00)	29 (0.97)	10,125 (3.21)				
	流行性耳下腺炎			3			2	5 (0.17)	2 (0.07)	642 (0.20)	36 (1.20)	12,838 (4.07)				
	RSウイルス感染症		1					1 (0.03)	2 (0.07)	1,247 (0.39)	195 (6.50)	30,571 (9.68)				
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	17 (0.02)	()	364 (0.52)				
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	3 (1.00)	666 (0.95)	21 (7.00)	13,846 (19.87)				
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	14 (0.03)	3 (0.38)	251 (0.52)				
	無菌性髄膜炎							()	()	18 (0.04)	1 (0.13)	308 (0.64)				
	マイコプラズマ肺炎		1	2				3 (0.38)	2 (0.25)	111 (0.23)	46 (5.75)	1,995 (4.16)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	4 (0.01)	12 (1.50)	89 (0.19)				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			1				1 (0.13)	()	20 (0.04)	29 (3.63)	2,953 (6.15)				
	計(小児科定点当たり人数)	27 (13.50)	32 (4.42)	105 (9.18)	12 (4.01)	10 (5.00)	26 (5.20)	212 (6.90)			44,400	26,691 (625.19)	2,634,146			
前週(小児科定点当たり人数)	24 (11.00)	56 (7.99)	120 (10.63)	14 (4.66)	12 (6.00)	29 (5.80)		255 (8.34)								

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第27週							計	前週	全国(26週)	高知県(27週末累計)		全国(26週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/8				H30/1/1～H30/7/1			
インフルエンザ	インフルエンザ										0.09	434.63	355.60			
小児科	咽頭結核熱		0.14	0.18	0.67	1.00	0.40	0.30	0.40	0.40	0.76	6.53	11.63			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.43	1.82	0.67	1.00	0.40	0.97	1.60	2.64	39.63	65.19				
	感染性胃腸炎	4.00	2.29	4.27	0.67	0.50	3.40	3.03	3.97	5.73	107.10	142.42				
	水痘			0.55	0.33	0.50		0.27	0.23	0.36	4.97	8.69				
	手足口病	8.00	1.14	1.18	1.00	1.50	0.60	1.53	1.17	1.60	12.63	11.41				
	伝染性紅斑		0.14	0.27				0.13	0.03	0.40	1.53	3.46				
	突発性発疹	1.50	0.14	0.55		0.50		0.37	0.63	0.56	9.50	11.34				
	ヘルパンギーナ			0.09	0.67			0.10	0.17	1.00	0.97	3.21				
	流行性耳下腺炎			0.27			0.40	0.17	0.07	0.20	1.20	4.07				
	RSウイルス感染症		0.14					0.03	0.07	0.39	6.50	9.68				
眼科	急性出血性結膜炎									0.02		0.52				
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	1.00	0.95	7.00	19.87				
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	0.38	0.52				
	無菌性髄膜炎									0.04	0.13	0.64				
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.40				0.38	0.25	0.23	5.75	4.16				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.01	1.50	0.19				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			0.20				0.13		0.04	3.63	6.15				
	計(小児科定点当たり人数)	13.50	4.42	9.18	4.01	5.00	5.20	6.90				625.19				
前週(小児科定点当たり人数)	11.00	7.99	10.63	4.66	6.00	5.80		8.34								

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869
この情報に記載のデータは2018年7月9日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。